

成長から飛躍を生 む

2.『やる気と結果を出す
学習法シリーズ③』



Hisanao

何時間、何を、どのように勉強(練習)すれば、どれだけの成長ができるのか。

伸び悩みに苦しみ、一気に飛躍したい私たちにとって、
ゲームのように成長が明確ならばやる気は格段に増しますよね。

残りどれほどの経験値でレベルが上がり、

レベルがいくつの時にどんなスキルを覚え、

何ができるようになるのか。

今回は、やる気と結果に極めて重要な、成長と飛躍について書きます。

結論から言うと、努力と結果は正比例はしません。

人間は、1努力すれば1成長し、100努力すれば100成長する、

という構造にはなっていません。

100努力しても成長は0のままかもしれない。

101目で、一気に50まで成長し、200努力した時には300まで成長し、

気が付けば「頭がいい人」、「強い人」になっている事も多々あります。

努力が先行し、結果がじっくり追いついてきて、ついには結果が追い抜く。

まずはこのプロセスの理解が、やる気の継続に必要です。

この原理は、勉強だけでなくあらゆる物事に共通すると思います。

野球のピッチャーが、1000球投げるごとに3キロ速球が速くなるとか、

ランナーが、100本走るごとに0.05秒タイムが縮まるとか、

バンドマンが、5曲作るごとにファンが100人増えるとか、

社会はそんなに分かりやすく私たちを上へは運んでくれないから厄介なのです。

その社会は、気が付けば上まで引っ張ってくれるかのように謳うビジネスで回っているため、モノクロではなく灰色に染まっています。

※話が逸れるので、深堀はよければ私の小説で。笑

では、どうすれば成長と飛躍を自分の人生にもたらすことができるか。

別の記事やビデオレッスン等（後述）でいくつも紹介してきましたが、

ここでは勉強法には2つの部分があるという考えを持って下さい。

1つ目は、正比例に近く、努力を形として積み重ねていける部分。

地面型とします。

勉強ならば、歴史や英単語など。理解と記憶をコツコツ重ねる文系型に多いです。

2つ目は、水面のように平らで、努力が沈み一見高さは変わらない部分。

水面型とします。

英語の特にリスニングや、人によっては数学など理系型がそう映ると思います。

一見「センス」という艇によって、あっという間に追い抜かれたり、
進み方も分からなくなってしまう部分です。

ポイントは、自分はどちらで伸び悩んでいるのかを分析することです。

「英語は単語」という迷信や、費やした時間が結果に現れてくれる社会科目だけにしがみついて、

知識を「使う」水面型の勉強から逃げ続けていては勝てません。

一方で、知識の蓄積から逃れ、人よりは高い水面にゆらゆらと乗れてきた人も、

頑丈な地盤がなければそれ以上は登れず、ある日「なぜか」上手くいかなくなるスランプにも陥ります。

具体的に、特に英語に関して、どの部分が地面型と水面型で、

時間やお金、知的体力をどのように使うことが最も効果的かは、

以下私の勉強法で紹介していますので（当然全て無料）ぜひご活用下さい。

夢を諦めない！や、死ぬ気で頑張れ！は確かに重要です。

潜在意識が目標にフォーカスすることで、思わぬアイデアや馬力が出ることも多々あります。

ただし、その意思力だけでは永遠には続きません。

特に、勉強が楽しくも得意でもないと、数十分～数週間で「進めない」と投げ出してしまいます。

努力と成長は正比例ではない。

それでも、脳と時間の使い方で結果は著しく変わります。

私がお伝えしていく秘訣が、どこかで梃になってあなたを飛ばし上げることを目指して、

自分の旅もこのブログやビデオも突き進んでいきます。

2014年3月27日

=====

著者 : *Hisanao*

TOEIC満点、作家、IT企業グローバル系人事。

慶應義塾大学→UCLA→大手IT企業。

=====

ブログ :

一步世界へ ~Lead Japan to the World! 「英語と感動のある人生へ」~

ビデオ:

[TOEIC満点のひとこと英会話講座 \(YouTubeチャンネル\)](#)